

2月の主な予定

日	曜	主な行事
1	木	スキルタイム計測⑤お茶の淹れ方教室(4年)
2	金	全校朝会
3	土	
4	日	
5	月	さわやかタイム ⑥委員会活動
6	火	SC来校(PM)
7	水	⑤なわとび大会
8	木	第3回家庭学習週間 8日～14日 土日も学習
9	金	
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	
14	水	フッ化物洗口
15	木	19:00PTA本部役員会
16	金	特別校時5時間 14:30下校
17	土	
18	日	
19	月	特別校時5時間 14:30下校
20	火	特別校時5時間 14:30下校 SC来校(AM)
21	水	特別校時5時間 14:30下校 オンライン英会話 フッ化物洗口
22	木	特別校時5時間 14:30下校
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	⑥委員会活動
27	火	
28	水	
29	木	

日曜参観ありがとうございました

6年生では親子ふれあいということで、富永ポンドさんのご指導の下、こだわりの作品が出来上がっていました。学校にも一つ寄贈してくださいました。

1年生は図工で凧作り、2年生は無事に出産された濱上先生をゲストTにお呼びし、生活科の学習が行われました。

3年生は音訓かるた、4年生は木材をつかったのひみつのすみかづくり、5年生は意見文発表と、子ども達の様子を見ていただきました。日曜ということもあり、家族そろっての来校も多かったようです。

参観後に授業についてある保護者の方からご意見をいただきました。真摯に受け止め、今後の授業改善について管理職も含め務めて参ります。他にも参観を通しての意見や感想等ありましたらお知らせくださいませ。

なお、学校は基本的には常時開放しております。参観ご希望の場合は、お電話にてお知らせください。



<6年生 親子活動風景>

学校評議員会第3回を実施しました



毎回ご助言をいただいたことを学校運営に生かしております。充実した学校教育が行われていること、具体的な事実や数字に基づく方略を評価していただきました。やはり挨拶のことが課題との共通認識をもつこととなりました。

更に上を目指すには挨拶のワンランクアップが必要のようです。

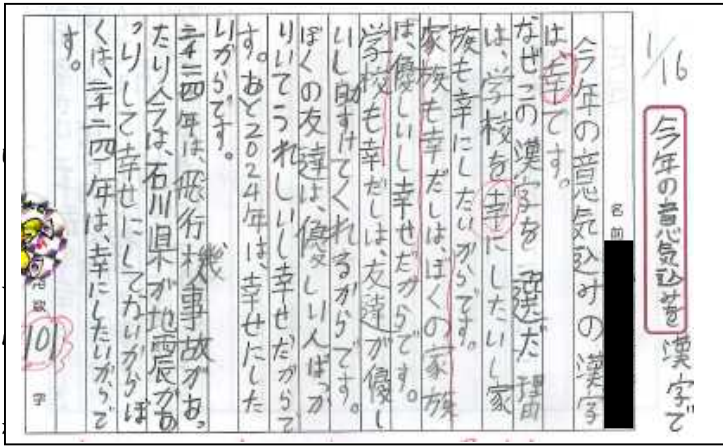
たし算・ひき算・かけ算のスピード

算数の力には計算力が必須ですが、そのおおもとをたどっていくと、**2年生までに習う繰り上がり、繰り下がり**のたし算・引き算、そして**かけ算をいかに速くできるか**にあることがわかります。

ご家庭でも、休日や長期休業中にはその力を維持するべく継続してされることをお勧めします。やればやるだけ力がつきます！前を進む車のナンバーを見て計算する習慣も日常的にできて効果あります。



今年の意気込みを書いてくれた5年生の作文に素敵な文章がありましたのでご紹介します。



自分の周りの人が優しいから幸せを感じるという黒田さんの人柄を表す内容に読んでいらっしゃる方もほっとします。また、能登地震や航空機事故がありましたが、そのことを自分ごととして心配していることに成長も感じました。

高学年になると視野が広くなり、見方も変わってきます。世の中の出来事にも関心をもち、これからも学んで欲しいと思います。

人の幸せを願うことは、自分の心をも満たしてくれるように思います。

書き直しまでが宿題

本校では、中学生になるまでに確実に家庭学習ができることや課題をきちんとやっていくことができる習慣づくりに力点を置いています。「学力向上だより」NO2にも紹介していますが、どのクラスでも、宿題のチェックに始まり、書き直しまですることで基礎的な力をつけていっています。宿題だけでなく、テストも必ず書き直しをさせてから持ち帰るようにしています。

ご家庭でも、宿題はやった後の間違いを修正することが大切ということをご共有していただければと思います。

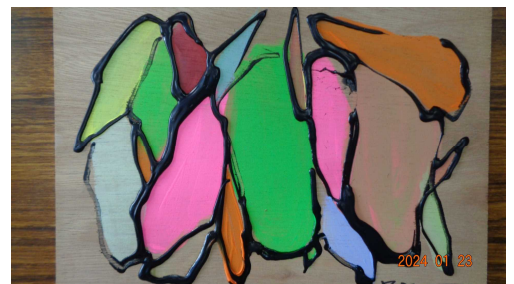
また、修正したことを時間をおいてもう一度再現できるところまでできて、定着していると言えます。同じ問題を何度もやることは、徹底するためには欠かせません。

地道なことをねばり強く続けることが、学力向上には必要です。確実な基礎基本が深い学びにつながります。

なわとび頑張っています

昼休みになると寒さに負けず外に飛び出す子ども達がたくさんいます。心強い限りです。昨日今日も寒い日が続きますが、子ども達の方が格段に元気ですね！

ポンド様の寄贈作品です！



神崎市への移住定住・子育て支援プランがあることをご存じですか？

先日、市内校長研修会にて紹介がありました。幸い、西部小学校区には新規住宅地の造成が行われており、今がチャンスです。是非、お知り合いの方に転居を予定されている方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。わかりやすいパンフレットもあります。その際、どのような学校かは大切な要因だと思います。転居を計画中や予定の方の学校参観も随時可能です。いつでもお問い合わせください。

◆支援事例

子ども医療費助成事業	(新生児～小学校就学前)	1 医療機関	自己負担1000円/月	超えた分
小中学生、高校生当医療費助成事業		1 医療機関	自己負担1000円/月	超えた分
子育て世代包括支援センター運営事業				
ベビー用品貸与事業	一時保育促進授業	定住促進住宅取得補助金	等々	

問い合わせ先 神崎市役所 企画課 37-0102